

体験しよう! アメリカの年末年始

2025年度 第28回

冬のアカデミックホームステイ

異文化体験プログラム



クリスマスに街は華やぎ、プレゼントに家族は和み、集う一年で最も輝く冬のアメリカ。中学生から参加できるプログラムで、年末・年始の家庭生活、市民生活を体験してください。

詳細は資料編をご請求ください

研修企画 南日本カルチャーセンター

お問い合わせ・お申し込み先

オンライン説明会
ZOOMにて開催

日時 2025年 9月7日(日)/21日(日)
10月5日(日)/26日(日)

〈午前の部〉 9:30～12:00

〈午後の部〉 13:30～16:00

ZOOMミーティングID: 940 412 0761
パスコード: mncc1234



(株)南日本カルチャーセンター

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号
TEL 099 (257) 4333 (代表)
FAX 099 (250) 0321
ホームページ www.mncc.jp

観光庁長官登録旅行業第1355号 (社)日本旅行業協会正会員
総合旅行業務取扱管理者 濱田 逸平

営業時間 平日 9:00～18:00 (3～8月) 土日祝 休み
9:00～17:00 (9～2月)

お問い合わせ専用フリーダイヤル: 0120-212122

募 集 内 容

研修目的

大晦日、新年等の年末年始は、家族と一緒に過ごす大切な時間です。この特別な時期に、アメリカのホストファミリーと家庭生活を共にし、異文化体験学習を行うことを目的としています。

研修の特色

- 教育的なプログラムである。
- オリエンテーションが充実している。
- 期間中の様子をセンターのホームページ上で公開する。

研修参加資格

- 日本国籍を有する中学生、高校生、大学生
- 主体的に行動し、異文化を学ぶ姿勢のあること
- 心身健康で、自分の身の回りのことを一人でできること
- 参加者・保護者共にプログラムの趣旨を理解できること
- センターからの指示・決定事項を遵守できること
- 携帯電話を持って行かないこと

研修期間 2025年12月26日～2026年1月6日(12日間)

研修費用

618,000円（熊本空港発着料金）

618,000円（鹿児島発着料金）

※燃油サーチャージ料は含みません。

募集定員 25人(最少催行人員10人)

ホームステイ地 アメリカ合衆国(西海岸の郊外都市)

申込締切日

2025年10月31日(金)(但し、定員になり次第、締め切ります。)

利用航空会社

日本航空、全日空、ユナイテッド航空、大韓航空、デルタ航空、エバー航空、中華航空、アジアナ航空、エアカナダ、アメリカン航空、スターラックス航空

研修費用の範囲

◆研修費用に含まれるもの

1. 日本から米国までの往復航空運賃エコノミークラス
2. 期間中に計画されたプログラムの入場料、施設使用料などの活動費一切
3. 米国受入機関の運営費用及び準備費用
4. 集合から解散までに発生する団体行動中の交通費用一切
5. 往復の旅程中に発生する宿泊費用（食事代は除く）
6. 終日研修における交通費、入場料、見学費
7. オリエンテーション費用
8. ガイドブックなどの学習資料・配布物の諸経費

9. 引率指導者同行費用

※家庭内での食事と宿泊は、ホストファミリーの好意により提供されます。

※上記内容の一部を利用されなかった場合でも、当該費用の一部を返金することはありません。

◆研修費用に含まれないもの

1. 米国税関申告書作成料、携帯品・別送品申告書作成料、電子渡航認証システム（ESTA）代理申請手数料や有効性確認などの費用9,000円
2. ESTA申請料21ドル（有効なESTAの所有が確認された場合は必要ありません。）
3. パスポート申請に係る費用（所持者は不要）
5年旅券／11,300円、10年旅券／16,300円
4. 米国出入国通行税、入国審査料、税関審査料、検疫使用料、米国保安料、空港施設使用料 約9,000円
5. 国内空港施設使用料や旅客保安サービス料、航空保険特別料金、空港税、国際観光旅客税など 約8,000円
6. 燃油サーチャージ料 約48,770円（2025年8月1日時点の目安）
7. 超過航空受託手荷物料金
8. 任意の海外旅行傷害保険料
9. 個人的なお小遣い

※上記のパスポート印紙代は、窓口申請時の料金です。

オンライン申請の場合、5年旅券、10年旅券共に、上記の料金から400円下がります。

※天候などの当社の関与し得ない事由のため、当初のスケジュールと異なり、ホテルに宿泊しなければならない場合は、宿泊費や食費が別途必要になる場合があります。

※燃油サーチャージ料は、燃油原価の高騰に伴い、航空会社が国土交通省に申請し、認可されたもので、航空運賃とは異なる付加的な運賃であり、区間や航空会社により異なり、一時的なものとして流動的に実施されております。

研修管理

添乗員は同行しませんが、引率指導者が国際線出発空港から同行します。期間中は、引率指導者が常にセンター本社と連絡を取り合います。

為替変動による研修費用の変更について

このプログラムは、2025年4月20日時点の航空運賃、料金を基準として、研修費用の算出が行われております。研修費用は、航空運賃の改定や円ドル為替相場の変動に伴い、その変更が起こることがあります。資料編の「その他のプログラム条件」で明記されていますように、航空運賃の大幅な改定があった場合は、その増額、減額分が研修費用に反映されます。また、円ドルの為替相場は変動相場制ですので、その価格変動は常に起きておりますが、それを反映させることは現実的ではありません。そこで、このプログラムにおきましては、2025年12月25日の円ドル為替相場のTTSレートを基準値とし、その日のレートが1ドル155円以上の場合や、125円以下の場合は、研修費用を再検討し、研修費用の増額、もしくは減額を行う場合があります。

研 修 内 容

研修内容概略

アメリカの一般家庭の一員としてホームステイします。月曜日から金曜日まで午前中は3時間の授業があり、英語を通してアメリカの文化や習慣について学びます。午後からは、社会見学や文化交換会があります。土曜、日曜日の週末や大晦日・年始は、ホストファミリーと過ごします。

ティーチャーコーディネーター (TC)

現地で皆さんをお世話してくださる先生です。午前中の授業を担当したり、午後からの社会見学や文化交換会などを企画・手配していただきます。また、ホストファミリーとも懇意にしており、皆さんとホストファミリーとのパイプ役も務めます。

家庭生活とホストファミリー

午前中の授業や午後からの社会見学が終了し、午後5時頃にはホストファミリーの家に帰り、翌日学校が始まるまで、家庭で時間を過ごすことになります。この家庭での時間にホストファミリーは、特別な事を計画しているわけではなく、いつもの時間を過ごすだけです。ですから、家庭生活に多くのものを期待する事は禁物です。ホストファミリーは、純粋な博愛精神で皆さんを受け入れており、様々な場所に連れて行くという義務は一切負っていません。また、家庭での食事や宿泊の提供も、彼らの好意によるものです。もし、「ホストファミリーが～してくれない」という彼らへの不満があるとすれば、それはお客様意識や彼らの気持ちに対する認識不足です。彼らの善意に応えるよう常に感謝の気持ちを持って責任ある行動をしてください。特にこの時期はアメリカの人々にとっては特別ですので、家族と一緒に過ごす時間は、積極的に参加してください。

引率指導者

日本を出発し帰国するまで、参加者の指導にあたります。参加者と同じステイ地に滞在し、基本的に、期間中に企画された活動の全行程に同行します。

ウェルカムパーティーとさよならパーティー

アメリカ到着後、ウェルカムパーティーが開かれます。これは、アメリカの先生、ホストファミリーが中心になって参加者の皆さんを歓迎するパーティーです。帰国前に行われるのが、さよならパーティーです。これは参加者の皆さんがお世話になった先生方や、ホストファミリーへの感謝の意味を込めて行うもので、日本料理を作ったり、歌や踊りや特技などを披露します。

授 業

午前中9時から12時まで3時間、アカデミックセンターで米国人教師により授業が行われます。授業はテキストを使いながら、アメリカの社会、家庭、市民生活の様子を学びます。

社会見学と文化交換会

午後には社会見学や文化交換会があります。社会見学における訪問地は市役所、警察署、消防署、郵便局などの公共施設、工場などの地域経済の中心となる場、名所旧跡などです。また、そこで働く方々からの説明なども受けます。文化交換会は、日米の文化や伝統などを紹介しあい、互いの文化をより理解するための場となります。

終日研修

終日の社会見学があり、滞在地近郊の名所旧跡や景勝地や有名観光地を訪れます。この日は授業や午後の活動はありません。

スケジュール表

日	活 動 内 容
1 日目	日本出発。時差の関係で、日本出発日と米国到着日が同日。米国でお世話してくださるTCが空港に出迎え、バスでステイ地へ。ステイ地到着後、オリエンテーション。ホストファミリーと対面し、夕刻からウェルカムパーティー。ポットラック(食物持寄)形式で、ゲームや歓談を楽しむ。アメリカ式社交術を学ぶ。
2・3 日目	それぞれのホストファミリーと週末を過ごす。日本料理をふるまったり、日本のことや日本語を教えたり、お手伝いをしたりして、共に過ごす時間を充実させよう。ホストファミリーのために何ができるかを常に考えること!!
4 日目	午前は英語を使った授業。日常生活で使う簡単な会話の表現、俗語や慣用句について学ぶ。午後は社会見学で、市役所、消防署、警察署などの公共施設を訪問し、そこで働く方々から仕事の内容などの説明を聞いたり、施設内を見学する。
5 日目	午前は英語を使った授業。アメリカのお金や買い物での英会話、物価の違いについて学ぶ。午後はスーパーマーケットへ行き、実際に買い物の勉強。日米の製品や価格の違いなどを比較し、学習する。
6 日目	シアトルへ終日研修。ワシントン大学やスペースニードル、バイクプレイスマーケットなどを見学。世界的な観光地であるシアトルの魅力堪能する。アメリカでの大晦日、家族で楽しいひとときを!
7 日目	A Happy New Year! それぞれのホストファミリーと元旦を過ごす。日本の元旦とは異なる年始を体験する。
8 日目	午前は英語を使った授業。アメリカの家族、家庭生活について学ぶ。午後は老人ホームを慰労訪問。日本の歌や折り紙などを披露して、文化交換会を楽しむ。
9 日目	午前は英語を使った授業。アメリカの祝祭日について学ぶ。午後は感謝祭やクリスマスなどアメリカの代表的な行事を疑似体験する。日本の祝祭日や行事も紹介して、お互いの文化交換をする。
10 日目	午前最後の授業。アメリカで学んだことを振り返って、英文を書いたり、ホストファミリーに渡すギフトを作る。午後はさよならパーティーの準備。夕刻はホストファミリーを招いてさよならパーティー。特技披露や合唱などの発表をして、お世話になったホストファミリーやTCに感謝の気持ちを伝える。
11 日目	帰国日。ホストファミリーとアカデミックセンターで別れてバスで空港へ。TCとは空港でお別れ。
12 日目	日本到着。入国手続き後、貸切バスや国内線を利用して各県へ。着後解散。

※このスケジュールは、大体のひな形です。実際のスケジュールは、オリエンテーションまでにお渡しします。

申 込 方 法

❖ 申込方法

お申し込みには「参加申込書」と「参加申込金」の2点が必要です。

◆参加申込書 資料編巻末の申込書にご記入ください。

◆参加申込金 5万円（研修費用の一部に充当します。）

以上の2点を南日本カルチャーセンターに現金書留でご郵送ください。申込金は銀行振り込みでも構いません。到着次第、ガイドブックと手続書類一式をお送りします。

❖ 申込先及び振込先

◆申込先

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号
株式会社 南日本カルチャーセンター

◆振込先

三井住友銀行	鹿児島支店	普通口座	828282
肥後銀行	鹿児島支店	普通口座	1055554
南日本銀行	本店	普通口座	230800
鹿児島銀行	鴨池支店	普通口座	3138706
沖縄銀行	本店	普通口座	1278721
郵便振替口座			02010-8-32878

◆口座名 (株)南日本(ミナミニホン)カルチャーセンター

※必ず参加者名で送金してください。

※残金は11月27日までに支払ってください。

❖ 参加取消し

参加者のご都合によりお取消しになる場合は、次の取消料をお支払い頂きます。

11月18日から11月25日まで	研修費用の10%
11月26日から起算して研修開始3日前まで	研修費用の20%
研修開始日の前々日より研修開始当日	研修費用の50%
研修開始後以降、又は無連絡不参加	研修費用の全額



冬のアカデミックホームステイに参加して

私はこのホームステイで、自分の中の弱い一面を発見することができました。今まで何ともなかったことが、環境が変わったらできなくなるというとても弱い一面です。だけど、私がそんな自分を知れたのは、自分の置かれた環境のおかげだと思っています。だからトラブルがあったとしても、それによってすごくよい勉強をすることができました。この経験を必ずどこかで活かすことができるように、日常生活でも心がけていきます。すごく楽しくて、深く学ぶことができた最高のホームステイでした。

大分県青山中学校3年 高根 唯花

私が今回のホームステイで実感したことは、お互いが完全に言葉を理解することができなくても、コミュニケーションをとることは可能だということです。難しい文法を使うよりも、I want to doやPleaseを使って簡潔に話した方が相手にも伝わりやすいし、考える時間も短くなり、相手を待たせることがなくなります。また、「何でも大丈夫、どちらでも大丈夫」というあまり自主性のない返事を普段使っていることに気付いたので、これからは使わないように気を付けたいです。今回のホームステイで学んだことを通して、これからの自分の人生に活かしていきたいです。

鹿児島県志学館中等部3年 細山田 愛梨

飛行機に乗っている間には不安の方が大きく、楽しみと不安を交互に感じていました。アメリカに着いた時は、ブランドー先生と会ったり、初めてのメンバーと協力して行動してとても楽しかった一日でした。最初はホストファミリーとどう接していいかわかりませんでしたが、何もすることがないときは、ホストマザーの部屋に行ったりしてようやく話せるようになりました。私たちが話す時は必ず相づちをしてくれたり、うまく話せない時にはヒントをくれたり、単語しか言えない時も理解しようとしてくれました。不安も感じず落ち着く家族で理想のホームステイでした。

大分県青山中学校1年 田原 桃花

このホームステイ期間でアメリカの文化や風習について学ぶことができました。例えば、アメリカは正月よりクリスマスをお祝いするので、ほとんどの家庭がイルミネーションやクリスマスツリーを飾っていて、日本とは違うなと思いました。ホームステイが始まり、最初は英語だけの生活で、聞き取りが大変だったけど3日目くらいから日本のことも教えたりできてよかったです。楽しくて毎日がワクワクしたホームステイでした。

宮崎県檉中学校3年 長友 亜伊

私はこのホームステイを通して、今よりもっと英語を一生懸命勉強して上手になりたいと思いました。ホストファミリーがみんな温かくてあつという間の12日間でした。分かりやすいようにジェスチャーをしながら話しかけてくれたり、気持ちを気にかけてくれたホストファミリーとの週末が一番の思い出です。ファミリーに習った英語のフレーズを実践したときや、日本食を作った時に、私以上に喜んで褒めてくれて嬉しかったです。この経験を次につなげたいと思う、忘れられない冬休みになりました。

大分県佐伯南中学校2年 中田 莉奈

僕はこのホームステイをで、アメリカの暮らしについて学びました。家の中で土足だったことや浴槽はあるけどシャワーだけ浴びていること、週末に家族で車に乗って出かけることなど、他にもアメリカでいろいろな経験をさせてもらいました。この経験を次に活かしてがんばりたいです。

大分県鶴谷中学校2年 三浦 惇哉